

第2回 石岡市小中学校統合計画審議会 要旨

日 時 令和6年5月27日（月） 午後2時から午後4時半

場 所 八郷総合支所4階 401会議室

出席者 統合検討委員 16名

事務局 岩田教育長、神谷部長、柴田次長、林次長、高野参事、小倉課長、土師課長
島田課長補佐、中島係長、磯部主事

次 第

1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 自己紹介
4. 副会長の選任について
5. 議 事
 - (1) 八郷中学校地区の現状について
 - (2) 住民懇談会開催結果について
 - (3) 統合に関する費用について
 - (4) 石岡市の小中一貫教育推進について
 - (5) 検討体制・今後のスケジュールについて
6. そ の 他
7. 閉 会

決定事項等

- ・八郷中学校地区小学校8校の統合に向けたスケジュールや方策の協議の継続

会議内容

次第に沿って、議事に進む。

事務局：資料を基に学校統合再編の進捗状況、現状の整理、協議事項を説明

(会長)

事務局からの説明を受け、何か質問等はあるか。

(委員)

八郷地区の組み合わせは前回の審議会で決まっていたはずだが、八郷地区の統合は一向に進んでいない。また、八郷地区の統合は2段階に分けて進めていき、まずは複式学級の解消を目指し、最終的には八郷中学校の近くに八郷小学校(仮)を設け、小中一貫で進めていくと答申は出したはずである。統合が進まなければ、本来解消しなければならない複式学級が解消されない。なぜ進まないのか。また、統合できるのかできないのかをはっきりとしてほしい。

(事務局)

八郷地区の統合が進められておらず申し訳ない。複式学級の解消等の適正規模、適正配置への考え方のベースには変更がないため、統合に対して継続的に取り組んでいきたい。

(委員)

財政的な面を鑑みても、統合は8校合同が望ましい。8校の統合はいつ頃から着手できるのか見通しを聞きたい。

事務局：資料5を基に、検討体制、今後のスケジュールを説明。

(委員)

先の見通しが立たないまま懇談会等を開くのではなく、具体的にいつから着手できるのかを聞きたい。また、資料には「市民等への意見聴取」と記載があるが、参加している市民も少なく、妥当性があるのか疑問に思う。

(事務局)

7月の審議会で具体的な時期や、財政的な面も示していきたい。

(委員)

恋瀬・瓦会の保護者側の意見だが、保護者の知りたい情報と事務局から提供されている情報にズレがあったと考える。保護者からすると後々統合するのであれば、時間がかかってもいいから一度に統合してほしい。また、スクールバスの話を聞いてから決めたいため、スクールバスについての情報をなるべく早く貰えると助かる。また、他の学校の意見も聞くためにまずは、全校のPTA会長が集まり、意見交換する機会を設けるべきではないか。また柿岡の保護者は、老朽化を理由に既存の校舎を使うことに大反対しており、新しい校

舎を望んでいる。

次の審議会では、全校の PTA 会長が集まり、スクールバスの計画を聞き、懇談会の日程に関しても数日開催するなどの配慮をしていただきたい。

(委員)

先程から複式学級の解消が目的と言われていたが、単学級の解消を希望する。2、3校の統合や5校の統合では、またいずれ単学級になってしまう恐れがある。できれば8校合同の八郷小学校(仮)の建設を希望する。

(会長)

我々が考えていることと保護者の方々が考えていることには、少々ズレがあることを再確認できた。また、新しい校舎を作るには膨大な費用がかかるため、できることからやっていきたい。子どもの数の推移を見るに、統合することは避けて通れないであろうし、総意であろう。ただ、地域の方々の反対も考えられる。

(委員)

旧城南中と石岡中の統合に携わった。旧城南中の子どもたちは、少人数であることでいじめられるのではないかと不安だったようだ。それに対し、城南中の PTA の方々にいじめはまず考えられないと伝えた。それよりも、無かった部活動に参加することができて、良い思いをする子どもたちの方が多いのではないかと保護者の方々に伝えた。また、PTA の規約も両校を尊重した形で案を作った。そうすることで双方が納得のいく統合になったのではないかと考える。

今回の統合も8校合同で行うが、バスは絶対に出す・統合はいつまでに完成させたい・バス通学の子どもたちのために、雨風がしのげる待合所のようなものを作る等の、保護者が納得するような条件を出せば、8校同時の統合が進んでいくのではないと思う。

(委員)

8校統合を資料で提示している以上は、8校の代表が審議会に参加するべきである。また、子どもたちの教育環境を考えるに8校統合が望ましい。8校統合をする場合は、八郷中学校に隣接した八郷小学校(仮)をつくり、小中一貫にする形が最もふさわしいと考える。

(委員)

もし表に出すことができるのであれば、八郷地区小学校の統合を優先に行うと公表していただければ不安はいくらか解消するのではないか。

(教育長)

教育委員会としても八郷中学校地区小学校の統合は最優先で行いたいと考えているが、8校統合には校舎建設があるため、数年は確実にかかってしまう。また、小中で教員を一体的に捉えることでより良い教育が展開可能になるのではないかと考えている。

前回の答申では、八郷小学校(仮)の話は出たものの、小中一貫という枠組みには入っていなかった。小中一貫校としての枠組みに関しても、ご意見をいただきたい。この後、皆様のご意見を踏まえて、どの時期であれば可能か、どこまで前倒しできるか等を検討していきたい。

他のことで不安なことがあれば、ご意見いただきたい。

(委員)

委員の任期があと2ヵ月であるため、予定されているスケジュールと連動しない。8校の代表を招集することに関しての回答もまだ貰えていない。また、7/31以降はまた新たな委員で進めていくのか確認したい。

(事務局)

市の統合計画審議会の条例に基づくと、委員定数が20名と定められている。8校の代表を正式な委員として招集するというのは難しい状況ではある。しかし例えば、別な会合として8校の代表のPTAの方々と意見交換をするということは可能であるため、そういった形で検討していきたい。また、任期については年度の途中であるため、委員の皆様にご継続してご指名をお願いしたいと事務局の方では考えている。

(委員)

条例を直すことは議会を通すので面倒だが、ひとまず全員に同じ情報をすぐに共有できるように、正式な形でなくても参加してもらい意見交換をするべきである。無駄な会議は減らすべきである。

(委員)

小中一貫教育に関することだが、施設分離型は扱いが難しいのではないかなと思う。学校間で距離があるため、管理職が兼任しなければならない。また、小中合同の行事についても考慮しなければならないため、その誘導や取りまとめはどうやって行うのか。子どもたちや先生方にとって、小中一貫が弊害にならないかが懸念される。また学校間の距離が、歩いて行き来できる程度でないと厳しいのではないかな。

(教育長)

小中一貫教育の施設分離型については、例えば石岡中に来る東小・南小の3校で子ども

たちをどう育てていくかという構想を考えている。また、行事を目的としているのではなく、子どもたちをどう育てていくかに重きを置いている。

八郷中学校と八郷小学校(仮)は、施設分離型ではなく、施設隣接型または施設一体型の枠組みに入ると考えている。

(会長)

お互いに連携をとることは様々な方法で可能であるため、物理的距離があるその3校の関係は小中一貫校とは言わないと思う。八郷中学校と八郷小学校(仮)を隣接させた小中一貫教育は非常に理想的である。八郷中学校と同じ敷地内に建設することは、検討しているのか。

(事務局)

仮に8校の統合小学校ができる場合、財源的な部分については市全体での事業も学校統合以外にも進んでいる部分があり、事務局としては教育環境の充実ということで学校統合を最優先に進めていくが、今後の財源的な部分、あとは今回の答申をもとに今後の計画でどういう風なベースで進められるかを含めて検討していかなければならない。

場所については今の段階では断言できない。

(委員)

8校統合は非常に切羽詰まっているように見える。また、複式学級はもちろん大変な負担がかかるし、単学級の解消を求める切実な声も聞いている。また、私の地元である園部中学校区の校舎の築年数の資料がない。統合を進めるには、柿岡地区8校統合に並行して園部中学校区の方も議題にあげていただかないと、また遅れをとって切羽詰まってしまうのではないか。

(事務局)

まずは八郷中学校区の小学校を優先的に考えている。しかし、八郷中学校区に比べ優先度は下がるが、園部中学校区の園部中・園部小・東成井小3校の小中一貫化も検討している。

また築年数に関するお問い合わせについては、園部小の校舎の築年数は43年、東成井小は47年と補足させていただく。

(委員)

補足を受けて、改めて真新しい校舎ではないことを確認した。八郷中学校区だけが八郷地域ではない。園部中学校区も資料だけでも同時並行で進めていき、皆様のご意見を図ることが重要なことに繋がっていくと思うのでよろしくお願いしたい。

(委員)

8校の代表が全員集まることが望ましいが、働いている人にとっては、平日のこの時間に集まるのはかなり厳しい。もう少し働いている人に寄り添っていただけるとありがたい。

(委員)

学校で行われる子どもの行事の時に、保護者しか集まらないかもしれないが、統合についての意見聴取ができればと思う。また PTA の集まりの際の、最後 15 分程度で情報共有するなど、集まりの形をこちら側に合わせていただけると嬉しい。

(委員)

各学校で統合に関する賛成・反対のグラデーションがかなりある。保護者を対象とした葦穂小のアンケートでは柿岡小・吉生小・葦穂小の3校の統合に賛成多数。吉生小は反対多数だった。葦穂小では、賛成多数であってもスクールバスや体操服等の不安の声が出ている。また、少人数から多人数になったときの子どもたちの不安も考えられる。吉生小の保護者も反対多数だが、こういう面を説明してくれれば、意見が変わるのではないか。また、吉生小の保護者のアンケートをきっちりととっているはずだが、それに対する回答がまだ無いように見受けられる。

また、単学級でクラス分けができないことも、かなりの不安要素となるのではないか。クラス替えの楽しみを味わえないのももったいない。そのため、統合によって多人数になる学校に馴染めない子が通えるようなフリースクール等を提供することを条件とするのであれば、今反対している人も意見が少し動くのではないかと考える。

また、こういった情報を保護者の方に共有できる機会がなかなか無かったため、帰ったら資料をまち comi で共有しようと思う。

(委員)

もっと早くできないのか。なぜこんなスケジュールなのか。建設するのであれば最低でも 3,4 年かかり、全体的に見ると 5,6 年はあっという間にかかってしまう。学校が新しく出来てから統合するのか。それとも先に今できるところをまとめて、後から建設を進めていくのか。

また、新しく建設すると概算で 29 億かかると資料に記載されているが、統合を行うことで、推計年間 3 億 4000 万程度削減できるとの記載があるなら、10 年かければ元がとれる。ならばどれだけ早くやるかということになる。財源が財源というのが、このまま学校を維持したコストを一瞬でも早く削減して、それを当てれば財源は埋められる。このスケジュールを見たときにいつ統合をしたいのか分からない。いつまでに意見をまとめたいという意思がなければ、保護者の方々の意見もまとまらない。今回のようなのんびりした案では

なく、今年中にはもう解決するんだという意気込みでやっていただきたい。来年予算に反映させるためには早急に今年中に形を決めるべきである。

(会長)

はじめの答申のときに統合を２段階にしたのは、統合がすぐに進められないからである。統合がすぐに進めることができないから、せめて複式学級の解消からスタートしようとしたが、それも現在全然解消されないまま以前いた子どもたちは卒業していった。はじめから２段階がいいなんて誰も思っていなかった。苦肉の策の２段階だった。なんとか進めてほしい。

(委員)

今年から南小４校一緒になった。青少年を育てる石岡市民の会では、各所で３００円程度のお金をいただいて運営しているような状態である。府中小・北小の２校統合程度であれば比較的すんなりと移行できるが、南小４校の統合により四苦八苦している。それが８校統合になると今以上に相当な負担がかかる。ひとまず時間をいただきたい。

(委員)

当事者の意見がやはり重要であり、８校全ての代表が集まって話をするのが一番だと考える。また、一度に統合するのが望ましいと考える。統合し、建物を建てるのであればお金がかかるのは当たり前。なんとかしていただくしかない。

(委員)

今のお話の通り、今年瓦会小で老朽化により学校のプールが使えなくなったり、昨年から飲み水の水道水もダメになってしまったりと、かなり支障をきたしている。財源的な面や校舎建設に時間がかかるのは理解できるが、新しい校舎の建設をなるべく早く進めてほしい。

(委員)

義務教育学校に勤めていたことがあるが、小中一貫について、資料における今の単学級の学級編成を見るに、メリットがたくさんあるように思える。それが十分に発揮できるような小中一貫の施設を準備していただけるとうれしい。

(委員)

８校の代表の意見が必要である。それについての返答がまだもらえていない。

(事務局)

オブザーバーとして 8 校の代表をという件につきましては、事務局の方で協議し、検討していこうと思う。

(会長)

事務局には今回の審議内容をまとめていただいて、次回の審議会に反映していただけるといい。

(事務局)

八郷中学校地区の 8 校統合、5 校統合と 3 校統合についての資料は、例示をしているがこれはあくまで教員の配置を比べるためのものであるので、誤解のないように今後取り扱いいただけたらと思う。

(会長)

この資料については、全く分からない人に見せたときに思わぬ誤解が生まれる可能性がある。そして職員数の配置に関しても、変更されていく可能性がある。取り扱いには十分に注意していただきたい。

終了時刻 午後 4 時 30 分